自己点検評価報告書

資料 2-1 博士入学試験実施状況と充足率

年次	専攻	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数			進学者数	博士課程合計	他大学出身者の割合	留学生の割合	定員充足率
					本学出身者	他大学出身者	合計					
2018	総合医学・国際連携総合医学	161	217 〔 57 〕 (9) 【 0 〕 < 19 >	174 〔 48 〕 (8) 【 0 〕 < 17 >	58 〔 14 〕 (0) 【 0 〕 < 0 >	108 〔 29 〕 (7) 【 0 〕 < 14 >	166 〔 43 〕 (7) 【 0 〕 < 14 >	3 〔 2 〕 (1) 【 0 〕 < 1 >	169 〔 45 〕 (8) 【 0 〕 < 15 >	63.91%	13.61%	104.97%
2019	総合医学・国際連携総合医学	161	206 〔 58 〕 (8) 【 0 〕 < 24 >	172 〔 52 〕 (8) 【 0 〕 < 23 >	53 〔 10 〕 (0) 【 0 〕 < 0 >	105 〔 33 〕 (7) 【 0 〕 < 17 >	158 〔 43 〕 (7) 【 0 〕 < 17 >	6 〔 5 〕 (0) 【 0 〕 < 2 >	164 〔 48 〕 (7) 【 0 〕 < 19 >	64.02%	15.85%	101.86%
2020	総合医学・国際連携総合医学	161	219 〔 62 〕 (11) 【 2 〕 < 24 >	180 〔 51 〕 (11) 【 2 〕 < 21 >	59 〔 6 〕 (0) 【 0 〕 < 0 >	103 〔 38 〕 (7) 【 0 〕 < 14 >	162 〔 44 〕 (7) 【 0 〕 < 14 >	5 〔 3 〕 (0) 【 0 〕 < 1 >	167 〔 47 〕 (7) 【 0 〕 < 15 >	61.68%	13.17%	103.73%
2021	総合医学・国際連携総合医学	161	221 〔 52 〕 (8) 【 0 〕 < 30 >	187 〔 38 〕 (7) 【 0 〕 < 19 >	60 〔 7 〕 (0) 【 0 〕 < 0 >	118 〔 25 〕 (11) 【 0 〕 < 14 >	178 〔 32 〕 (11) 【 0 〕 < 14 >	9 〔 5 〕 (0) 【 0 〕 < 4 >	187 〔 37 〕 (11) 【 0 〕 < 18 >	63.10%	15.51%	116.15%
2022	総合医学・国際連携総合医学	161	195 〔 50 〕 (9) 【 0 〕 < 20 >	166 〔 44 〕 (9) 【 0 〕 < 17 >	60 〔 9 〕 (0) 【 0 〕 < 0 >	94 〔 28 〕 (6) 【 0 〕 < 11 >	154 〔 37 〕 (6) 【 0 〕 < 11 >	5 〔 3 〕 (0) 【 0 〕 < 3 >	159 〔 40 〕 (6) 【 0 〕 < 14 >	59.12%	12.58%	98.76%

注) 志願者数、合格者数、入学者数、進学者数については、〔 〕で女子を、()で国費外国人留学生を、

【 〕で外国政府派遣留学生を、< >で私費外国人留学生をそれぞれ内数で示す。

資料 2-2 国際連携総合医学専攻充足率

名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻 (2015.10 募集開始)										
	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	合計	充足率
定員(2名/大学)	4	4	4	4	4	4	4	4	32	
主)名古屋大学	1	1	1	0	0	1	1	0	5	31.3%
主)アデレード大学	0	2	0	3	0	0	0	0	5	31.3%
合計	1	3	1	3	0	1	1	0	10	
充足率	25%	75%	25%	75%	0%	25%	25%	0%	31.25%	

名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻 (2017.4 募集開始)										
	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	合計	充足率
定員(2名/大学)	-	-	4	4	4	4	4	4	24	
主)名古屋大学	-	-	2	1	2	0	0	0	5	41.7%
主)ルンド大学	-	-	1	0	0	0	0	0	1	8.3%
合計	-	-	3	1	2	0	0	0	6	
充足率	-	-	75%	25%	50%	0%	0%	0%	25.0%	

名古屋大学・フライブルク大学国際連携総合医学専攻 (2018.10 募集開始)										
	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	合計	充足率
定員(1名/大学)	-	-	-	2	2	2	2	2	10	
主)名古屋大学	-	-	-	1	0	0	0	0	1	20.0%
主)フライブルク大学	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計	-	-	-	1	0	0	0	0	1	
充足率	-	-	-	50%	0%	0%	0%	0%	10.0%	

国際連携総合医学専攻の総合充足率										
	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	合計	充足率
定員	4	4	8	10	10	10	10	10	66	
主)名古屋大学	1	1	3	2	2	1	1	0	11	33.3%
主)パートナー大学	0	2	1	3	0	0	0	0	6	18.2%
合計	1	3	4	5	2	1	1	0	17	
充足率	25%	75%	50%	50%	20%	10%	10%	0%	26%	

自己点検評価報告書

資料 2-3 修士課程入学試験実施状況と充足率

年次	専攻	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数			定員充足率
					本学出身者	他大学出身者	合計	
2018	医科学	20	37 (24) (0) 【 0 】 < 12 >	28 (18) (0) 【 0 】 < 10 >	1 (1) (0) 【 0 】 < 0 >	24 (16) (0) 【 0 】 < 10 >	25 (17) (0) 【 0 】 < 10 >	125.00%
	医科学 (YLP)	10	17 (9) (17) 【 0 】 < 0 >	11 (5) (11) 【 0 】 < 0 >	0 (0) (0) 【 0 】 < 0 >	11 (5) (11) 【 0 】 < 0 >	11 (5) (11) 【 0 】 < 0 >	110.00%
2019	医科学	20	40 (24) (1) 【 0 】 < 14 >	26 (15) (1) 【 0 】 < 9 >	3 (1) (0) 【 0 】 < 0 >	18 (11) (0) 【 0 】 < 8 >	21 (12) (0) 【 0 】 < 8 >	105.00%
	医科学 (YLP)	10	11 (5) (11) 【 0 】 < 0 >	11 (5) (11) 【 0 】 < 0 >	0 (0) (0) 【 0 】 < 0 >	9 (5) (9) 【 0 】 < 0 >	9 (5) (9) 【 0 】 < 0 >	90.00%
2020	医科学	20	23 (17) (1) 【 0 】 < 10 >	23 (17) (1) 【 0 】 < 10 >	0 (0) (0) 【 0 】 < 0 >	16 (14) (1) 【 0 】 < 7 >	16 (14) (1) 【 0 】 < 7 >	80.00%
	医科学 (YLP)	10	38 (28) (38) 【 0 】 < 0 >	9 (9) (9) 【 0 】 < 0 >	0 (0) (0) 【 0 】 < 0 >	9 (9) (9) 【 0 】 < 0 >	9 (9) (9) 【 0 】 < 0 >	90.00%
2021	医科学	20	24 (9) (0) 【 0 】 < 7 >	24 (9) (0) 【 0 】 < 7 >	1 (0) (0) 【 0 】 < 0 >	18 (9) (0) 【 0 】 < 8 >	19 (9) (0) 【 0 】 < 8 >	95.00%
	医科学 (YLP)	10	22 (12) (22) 【 0 】 < 0 >	10 (7) (10) 【 0 】 < 0 >	0 (0) (0) 【 0 】 < 0 >	10 (7) (10) 【 0 】 < 0 >	10 (7) (10) 【 0 】 < 0 >	100.00%
2022	医科学	20	28 (14) (3) 【 0 】 < 12 >	24 (13) (3) 【 0 】 < 11 >	1 (1) (1) 【 0 】 < 0 >	16 (8) (1) 【 0 】 < 6 >	17 (9) (2) 【 0 】 < 6 >	85.00%
	医科学 (YLP)	10	17 (10) (17) 【 0 】 < 0 >	7 (2) (7) 【 0 】 < 0 >	0 (0) (0) 【 0 】 < 0 >	7 (2) (7) 【 0 】 < 0 >	7 (2) (7) 【 0 】 < 0 >	70.00%

注) 志願者数、合格者数、入学者数、進学者数については、【 】で女子を、()で国費外国人留学生を、
【 】で外国政府派遣留学生を、< >で私費外国人留学生をそれぞれ内数で示す。

資料 2-4 名古屋大学大学院医学系研究科 機構図

資料 2-5 国際連携総合医学専攻 (JDP)

2018年 4大学合同ミーティング (FLAN)

2020年 博士課程学位授与式

資料 2-6 名古屋大学・香港中文大学ダブルディグリープログラム

名古屋大学・香港中文大学ダブルディグリー国際共同教育プログラム 履修モデル

資料 2-7 医学系研究科が参画した博士課程教育リーディングプログラム

文部科学省 リーディング大学院プログラム

「PhDプロフェッショナル登竜門」
(2012年度採択、2018年度終了)

リーダーとして実践的に活躍できる職業人の育成

**「『ウェルビーイング in アジア』
実現のための女性リーダープログラム」**
(2013年度採択、2019年度終了)

ウェルビーイングの実現に資する
グローバルに活躍する女性リーダーの育成

● 貧困問題
● 多様な健康問題
● ジェンダー格差

**「実世界データ循環学
リーダー人材養成プログラム」**
(2013年度採択、2019年度終了)

実世界データの取得・解析・実装循環を促進する人材の育成

オーダーメイド医療
オミクス解析
遺伝子情報・病歴情報

資料 2-8 卓越大学院プログラム (CIBoG)

文部科学省 卓越大学院プログラム

**「情報・生命医科学コンボリューション
on グローカルアライアンス卓越大学院(CIBoG)」** (2019年度採択)

・生命医科学と情報科学の融合教育による卓越した博士人材を育成

新しい医学健康科学を創造・牽引できる卓越リーダーを育成

大学改革を伴う情報・生命医科学拠点

・履修生 80名の受け入れ、国際誌論文 36報の発表(2023年3月時点)

資料 2-9 メディカル AI 人材養成産学協働拠点 (AI-MAILs)

文部科学省 保健医療分野におけるAI研究開発加速に向けた 人材養成産学協働プロジェクト

「メディカルAI人材養成産学協働拠点 (AI-MAILs)」 (2020年度採択)

- ・AI開発を産学官連携に展開し実臨床に活用できるAI医療人材を育成
- ・4大学、1研究機関、22企業の連携によるAI教育

・3つのコース

1 スタンダードコース

データサイエンス教育を基盤としたAI教育プログラム

R2-R4受け入れ実績 258名

2 インテンシブOJTコース

AI共同開発の場を活用した産学連携AI開発の教育プログラム

R2-R4受け入れ実績 32名

3 ニーズドリブンAI構築 /アントレプレナーシップコース

患者・医療者ニーズを実現するアントレプレナー教育

R2-R4受け入れ実績 17名

資料 2-10 基礎研究医養成活性化プログラム

文部科学省 大学教育再生戦略推進費 基礎研究医養成活性化プログラム

「人体を統合的に理解できる基礎研究医の養成」 (2017年度採択)

- ・6大学の共同による病理・法医の研究医の育成
- ・病理診断・法医鑑定やオートプシーイメージングなど全14コース
- ・オンライン講義の積極採用

合同研究発表会

ビデオ講義

- ・履修生 50名の受け入れ、修了生 21名を輩出(2023年3月プログラム終了時)

資料 2-11 課題解決型高度医療人材養成プログラム

**文部科学省 大学教育再生戦略推進費
課題解決型高度医療人材育成プログラム**

「東海国立大学病院機構CSTネットワーク事業」 (2019年度採択)

- ・東海4大学の連携による献体を利用した手術トレーニング(CST)プログラム
- ・手術手技開発、医療機器開発、医療安全などの分野の指導者の育成

CSTサージカルトレーニング

- ・履修生 65名の受け入れ、修了生 39名を輩出(2023年3月プログラム終了時)

資料 2-12 Global Alliance of Medical Excellence (GAME)

**世界医学卓越連携／世界医学部連携
GAME (Global Alliance of Medical Excellence)**

世界トップクラス大学の医学部(9大学)による戦略的国際連携
「革新的な医学教育」と「インパクトのある研究」の推進を目指す

University of Alberta	アルバータ大学	カナダ
University of Bologna	ボローニャ大学	イタリア
The Chinese University of Hong Kong	香港中文大学	中国(香港)
Erasmus University Medical Center	エラスムス大学医療センター	オランダ
Korea University	高麗大学	韓国
Ludwig Maximilian University of Munich	ミュンヘン大学	ドイツ
Monash University	モナシュ大学	オーストラリア
Nagoya University	名古屋大学	日本
University of Nottingham	ノッティンガム大学	イギリス

<p style="text-align: center; font-weight: bold; color: white;">CREATE</p> <p style="font-size: small; color: white;">To create a greater impact on health science & medical education and achieve sustainable outcomes</p>	<p style="text-align: center; font-weight: bold; color: #555;">ENHANCE</p> <p style="font-size: x-small; color: #555;">To enhance global networks of research excellence in complementary fields and disciplines</p>	<p style="text-align: center; font-weight: bold; color: white;">FACILITATE</p> <p style="font-size: x-small; color: white;">To facilitate member institutions to achieve strategic, cross-disciplinary, long-lasting and impactful collaborations in research and education</p>
---	--	---

資料 2-13 GAME 年次総会

第6回GAME年次総会 (名古屋大学主催 対面開催) 2022年11月2~3日
The 6th Annual Meeting of Global Alliance of Medical Excellence
"Convolution of Informatics and Biomedical Sciences"

Project Updates I

- PhD4GAME
- Novel Microbiome markers for cancer and multi-diseases detection: an international consortium
- International Network of Drug-induced Liver Injury Research
- International Collaboration for At Risk Cohort of Lewy Body Disease

Project Updates II

- Transnational Educational Initiative (TEI)
- International Online Barrett's Esophagus Registry
- Building a magnetic resonance imaging consortium

CIBoG Special Session

- CIBoG Keynote Lecture
Professor Masahisa Katsuno
CIBoG Program Coordinator
- CIBoG Keynote Lecture

資料 2-14 GAME-CIBoG kickoff workshop

GAME-CIBoG kickoff workshop
(2022年1月22~30日、オンライン開催)

2022 GAME-CIBoG kickoff workshop
 Basics of Informatics and Biomedical Science Research

Goals

- Solving scientific problems within an international framework.
- Learning how to perform/interpret single-cell RNA-seq analysis in biomedical research.
- Understanding cancer diversity and mechanisms of drug resistance using single-cell analysis

Target students

- Graduate/medical students who want to learn single-cell RNA-seq in biomedical research through international exchange.
- 2 students per university are invited to join
- **Deadline applications: Friday 2021, December 17th**

	Day1 [22/01/22]	Day2 [23/01/22]	Day3 [29/01/22]	Day4 [30/01/22]
Draft of program	<ul style="list-style-type: none"> Opening remarks Ice-breaking Presenting the assignment Intro to RNA-seq lecture 	<ul style="list-style-type: none"> RNA-seq lecture One week to work between students on analyzing data 	<ul style="list-style-type: none"> Organizing the data and brainstorming between students Advanced advice for the interpretation 	<ul style="list-style-type: none"> Presentation from each group Closing remarks

Schedule January 22, 23, 29 & 30 (Online)
 NU, KU & Monash @4-7pm
 CUHK @ 3-6pm, CET @ 8-11am

Contact

- 6大学から総勢24名が参加
(香港中文大学、エラスムス大学、
ミュンヘン大学、モナシュ大学、名古屋大学)
- 延べ9日間にわたる
単一細胞RNA-seq解析の講義と実践
- 多国籍のチームでの共同作業

資料 2-15 グローバル・リトリートプログラム

- ・若手研究者が主体的に企画運営
- ・シニア研究者と若手研究者のミキシング
- ・一泊二日の合宿形式
- ・2009年に始まり、毎年約200名が参加
- ・生理学研究所、長寿科学研究所、愛知県がんセンター、愛知県医療療育総合センター と合同開催

ポスター発表

口頭発表

懇親会

資料 2-16 医学系研究科博士課程 MD・PhD コース

- ・MDとPhDの学位を同時に取得する医学研究エリートの育成コース
- ・奨学金(次世代研究者育成コース・基礎医学研究者養成コース)の優先採用

MD・PhDコース PlanA

医学部医学科4年(5年も可)を終えて、大学院博士課程の基礎医学領域 又は統合医薬学領域(短期修了による3年間)に入るコース。

MD・PhDコース PlanB

医学部医学科4年生から卒業後5年間に、臨床研修と大学院博士課程を終えるコース。
名古屋大学 医学部附属病院で研修をする場合は、1年間に社会人大学院生として臨床研修を行うことも可能。

資料 2-17 MD・PhD コースへの入学者数

入学年度	MD・PhD	プランA	プランB	合計
2007	1			1
2008				0
2009				0
2010				0
2011				0
2012				0
2013	1			1
2014				0
2015			1	1
2016			2	2
2017			2	2
2018			4	4
2019			1	1
2020			3	3
2021		1	2	3
2022			3	3
合計	2	1	18	21

資料 2-18 医療行政コース (YLP) の国別入学者数と実績(2023年4月現在)

国別修士課程卒業生数

Master Course Graduates by Country

Country	Year of Admission																				Total
	'03	'04	'05	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21		
YLP																					
Lao PDR	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	0	2	2	0	0	1	1	1	20	
Cambodia	2	1	1	2	1	2	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	21	
Vietnam	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	5		
Thailand	0	0	2	1	2	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	14		
Malaysia	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	3	2	2	1	14		
Myanmar	0	0	1	2	1	1	0	0	0	1	1	1	1	2	3	3	2	0	20		
Bangladesh	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	2	1	1	1	0	1	0	1	10		
Mongolia	1	2	2	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	22		
Afghanistan	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	2	2	1	1	1	2	1	0	15		
Kyrgyz	2	1	2	2	1	0	1	0	1	1	2	1	1	1	0	0	0	0	16		
Kazakhstan	1	1	0	0	1	3	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	2	12		
Uzbekistan	1	2	1	1	1	2	1	1	1	1	0	2	1	0	0	0	1	0	17		
Romania	-	-	-	-	-	-	0	0	0	1	0	0	0	-	-	-	-	-	1		
Poland	-	-	-	-	-	-	0	0	1	0	0	0	0	-	-	-	-	-	1		
Indonesia	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	1	1		
Subtotal	9	9	10	11	10	14	7	8	10	11	11	11	11	10	10	11	9	8	9	189	
JDS																					
China	2*	2	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	
Bangladesh	0	0	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	
Cambodia	0	0	2	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
JICA																					
Vietnam	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
Total	11	11	16	15	14	14	8	8	10	11	11	11	11	10	10	11	9	8	9	208	

*Two-year course

One participant admitted in 2012, and withdrew in February 2013.

JDS: Japanese Grant Aid for Human Resource Development Scholarship

JICA: Japan International Cooperation Agency

資料 2-19 外国人留学生数等（鶴舞地区及び大幸地区）

外国人留学生数等（2023年5月1日現在）

身分	国費		私費		合計
	男	女	男	女	
学部学生	0	0	5	3	8
修士課程（博士前期課程）	5	4	9	9	27
博士課程（博士後期課程）	17	11	21	44	93
研究生	0	0	2	1	3
大学院研究生	0	0	1	0	1
特別研究学生	0	0	0	1	1
合計	22	15	38	58	133

資料 2-20 任期制導入率

年度	総計	教授	准教授	講師	助教・助手
2018	93.7%	96.2%	89.8%	100.0%	91.7%
2019	94.0%	96.1%	91.3%	100.0%	90.9%
2020	93.1%	95.6%	91.7%	94.7%	90.6%
2021	91.0%	96.1%	89.1%	87.0%	88.6%
2022	90.8%	97.9%	87.2%	85.7%	89.2%

資料 2-21 博士課程での履修科目

科目区分	内 容
基礎科目	<p>大学院教育の一環として、できるだけ幅広く、かつ、基礎的な知識を身に付けさせる共通プログラムの科目である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基盤医学特論（講義） ・基盤医科学実習（ベーシックトレーニング）
専門科目	<p>学生の所属する専門分野が開講するセミナー及び実験研究から選択し、履修する。また、専門に応じて、特徴あるプログラムを受講しなければならない。</p> <p>〔 学生が目指す専門分野の研究を推し進め、創造力豊かな研究者 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療指導者となるための中核的な科目である。 ・専門分野 主科目セミナー ・専門分野 主科目実験研究
	<p>全領域が開講するセミナーから選択し、履修する。単位数は、履修時間数に応じて試験の上、認定する。</p> <p>〔 高度な専門知識と研究創造能力を身に付けさせる科目として位置づけられ、主科目に関連した科目とする。 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・副科目セミナー

資料 2-22 基盤医学特論開講数

年度	開講数	英語開講数	英語化率
2018年度	228	72	31.6%
2019年度	216	55	25.5%
2020年度	117	40	34.2%
2021年度	200	59	29.5%
2022年度	206	72	35.0%

資料 2-23 基盤医科学実習（ベーシックトレーニングコース）開講数の推移

資料 2-24 多彩な博士課程大学院コース授業

・特徴あるプログラム(4コース以上から20回の受講)

1. CIBoG 産学連携戦略プログラム
2. 医薬統合プログラム
3. ニューロサイエンスコース
4. キャンサーサイエンスコース
5. がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
6. On the job トレーニングプログラム
7. トランスレーショナルリサーチコース
8. 医学英語プログラム
9. CIBoG医療行政プログラム
10. CIBoG/AI-MAILs オミクス解析学プログラム
11. CIBoG/AI-MAILs 生命医療データ学
12. CIBoG/AI-MAILs メディカルAIプログラム
13. CIBoG 生命医科学基礎プログラム

キャンサーサイエンスコース

・基盤医学特論(15回の受講)

国内外の各分野の専門家による特別講義(年間約200回開講)

・基盤医科学実習(4コースの受講)

基礎的手法から最先端手法までを
数日の実習形式で学ぶコース(年間約70コース開講)

産学連携コース:
アステラス製薬株式会社 野木森雅郁会長講演

資料 2-25 修士課程教育課程及び講義

	授業科目	単位数	医科学コース	G30プログラム	公衆衛生コース	YLP	使用言語
1	人体形態学	2単位	必修		選択		E
2	人体機能学	2単位	必修		選択		E
3	病理形態学	2単位	必修		選択		E
4	社会医学	2単位	必修		必修		E
5	臨床医学概論	2単位	必修		選択	必修	E
6	医科学講義	2単位	必修		選択		B
7	医学基礎実習	2単位	必修	選択必修	選択		B
8	医科学セミナー	8単位	必修	必修	必修		B
9	医科学実験研究	8単位	必修	必修	必修		B
10	予防医学概論	1単位			選択必修		J
11	統計解析実習	0.5単位			選択必修		B
12	医学統計実習	0.5単位			選択必修		B
13	疫学	1単位			選択必修	必修	E
14	生物統計学	1単位			選択必修	必修	E
15	疫学研究方法概論	2単位			選択必修		J
16	臨床統計学・レギュラトリーサイエンス	1単位			選択必修		B
17	応用統計解析実習	0.5単位			選択必修		J
18	応用予防医学	1単位			選択必修		E
19	公衆衛生・国際保健概論	1単位			選択必修		J
20	法医学概論	1単位			選択必修		J
21	医療行政基礎実習	0.5単位			選択必修		E
22	医療機関と医療職	2単位			選択必修	必修	E
23	健康に関する行政法規	1単位			選択必修	必修	E
24	健康保険と医療経済	1単位			選択必修	必修	E
25	病院管理学	1単位			選択必修	必修	E
26	地域保健学・国際保健医療学	1単位			選択必修	必修	E
27	医事法制	1単位			選択必修	必修	E
28	保健医療システム概論	2単位			選択必修		J
29	総合保健計画学特論	2単位			選択必修		J
30	グローバルヘルス概論	1単位			選択必修		E
31	環境衛生学概論	1単位			選択必修		J
32	生体組織のメタロミクス解析実習	0.5単位			選択必修		J
33	感覚器の形態解析実習	0.5単位			選択必修		J
34	労働・環境衛生学	1単位			選択必修	必修	E
35	応用環境労働衛生学	2単位			選択必修		B
36	生活環境と健康	1単位			選択必修		E
37	総合保健計画学実践論	2単位			選択必修		J
38	質的解析法実習	0.5単位			選択必修		J
39	精神健康医学実習	0.5単位			選択必修		J
40	生命倫理学	2単位			選択必修		J
41	行動科学・医療社会人類学特論	1単位			選択必修		B
42	応用社会・行動科学	2単位			選択必修		E
43	質的研究・質的分析の方法	2単位			選択必修		B
44	医学倫理特論	0.5単位			選択必修		J
45	生命医学本論	10単位		必修			E
46	生命医学講究	16単位		必修			B
47	基盤医学特論	2単位		選択必修			B
48	薬局管理学	1単位				必修	E
49	コロキウム	2単位				必修	E
50	フィールドトリップ	4単位				必修	E
51	セミナーⅠ	1単位				必修	E
52	セミナーⅡ	1単位				必修	E
53	セミナーⅢ	1単位				必修	E
54	セミナーⅣ	1単位				必修	E
55	セミナーⅤ	1単位				必修	E
56	修士論文	6単位				必修	E

E: 英語
 B: 英語日本語併用
 J: 日本語

資料 2-26 基盤医科学実習（ベーシックトレーニングコース）アンケート結果

資料2-27 ティーチング・アシスタント (TA) の採用実績

医学TA 採用期間10月～3月	2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	人数	総額/年 1人あたり支給額 /年								
修士学生	18人	3,556,800円 197,600円	27人	3,896,100円 144,300円	21人	3,412,500円 162,500円	12人	2,589,600円 215,800円	9人	2,070,900円 230,100円
臨床系博士学生(日本人)	153人	5,737,500円 37,500円	146人	5,694,000円 39,000円	131人	5,698,500円 43,500円	87人	5,611,500円 64,500円	92人	5,658,000円 61,500円
基礎系博士学生 (医療薬学含む)及び 臨床系博士学生(留学生)	40人	9,120,000円 228,000円	53人	8,824,500円 166,500円	49人	9,187,500円 187,500円	39人	9,711,000円 249,000円	38人	10,089,000円 265,500円
その他：PBL チュートリアルTA	1人	75,000円 75,000円	1人	75,000円 75,000円	1人	75,000円 75,000円	1人	65,000円 65,000円	0人	0円 0円
合計	212人	18,489,300円	227人	18,489,600円	202人	18,373,500円	139人	17,977,100円	139人	17,817,900円

資料2-28 リサーチアシスタント (RA) の採用実績

年度	単価	人数	総額/年	1人当たりの支給額/年
2018年度	1,500円/時給	15人	3,220,500円	214,700円
2019年度	1,500円/時給	16人	4,156,500円	259,781円
2020年度	1,500円/時給	18人	3,414,000円	189,667円
2021年度	1,500円/時給	18人	3,298,500円	183,250円
2022年度	1,500円/時給	18人	2,913,000円	161,833円

自己点検評価報告書

資料 2-29 課程博士授与状況

入学年度	入学者(B)	退学者(C)	3年	4年未満	4年	小計(G)	満了	+1年以内	+2年以内	+3年以内	小計	合計(M)	G/(B-C)	M/(B-C)
1996	108	8	3	6	62	71	32	19	7	2	28	99	71.0%	99.0%
1997	118	11	0	8	56	64	43	13	11	3	27	91	59.8%	85.0%
1998	127	11	4	4	59	67	55	15	10	11	36	103	57.8%	88.8%
1999	144	14	11	5	51	67	60	18	14	9	41	108	51.5%	83.1%
2000	141	9	10	3	44	57	43	24	16	9	49	106	43.2%	80.3%
2001	125	1	17	3	46	66	48	17	14	6	37	103	53.2%	83.1%
2002	151	14	10	3	44	57	60	36	18	8	62	119	41.6%	86.9%
2003	170	12	16	3	56	75	61	35	19	12	66	141	47.5%	89.2%
2004	174	11	18	5	51	74	52	25	25	11	61	135	45.4%	82.8%
2005	151	16	10	5	44	59	75	23	23	10	56	115	43.7%	85.2%
2006	161	18	13	6	44	63	73	17	26	9	52	115	44.1%	80.4%
2007	164	14	10	6	53	69	81	22	23	13	58	127	46.0%	84.7%
2008	175	14	13	7	56	76	83	28	31	9	68	144	47.2%	89.4%
2009	161	11	7	8	58	73	73	18	23	10	51	124	48.7%	82.7%
2010	165	11	12	4	43	59	96	40	30	15	85	144	38.3%	93.5%
2011	165	9	12	7	46	65	85	32	22	16	70	135	41.7%	86.5%
2012	193	14	16	10	52	78	96	31	30	14	75	153	43.6%	85.5%
2013	207	8	20	12	60	92	84	36	27	7	70	162	46.2%	81.4%
2014	176	8	9	7	57	73	87	23	25	7	55	128	43.5%	76.2%
2015	173	4	15	5	47	67	73	25	23	23	71	138	39.6%	81.7%
2016	202	3	12	1	45	58	121	43	24	16	83	141	29.1%	70.9%
2017	191	9	10	4	63	77	96	32	24		56	133	42.3%	73.1%
2018	169	1	9	8	48	65	87	28			28	93	38.7%	55.4%
2019	164	9	6	6	39	51	70				0	51	32.9%	32.9%
2020	167	8	0								0	0	0.0%	0.0%
2021	187	12									0	0	0.0%	0.0%
2022	159	2									0	0	0.0%	0.0%

G/(B-C) : 終了年限内(4年以内)の学位授与率

M/(B-C) : 満了年限内(7年以内)の学位授与率

資料 2-30 修士課程学位授与状況

年度	学位授与者数 (医科学専攻)	修了者数 (医科学専攻)	学位授与率 (医科学専攻)
2018	23	23	100
2019	16	16	100
2020	25	25	100
2021	16	16	100
2022	12	12	100

年度	学位授与者数 (YLP)	修了者数 (YLP)	学位授与率 (YLP)
2018	10	10	100
2019	11	11	100
2020	9	9	100
2021	8	8	100
2022	9	9	100

資料 2-31 大学院修士課程・博士課程修了生の進路状況

大学院修士課程（医科学専攻）修了生の進路状況

卒業年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
進学	7	5	7	9	6
民間企業等	10	4	10	3	2
医療機関	1	1	1	0	1
官庁	1	1	1	0	0
その他	4	5	6	4	3
合計	23	16	25	16	12

大学院修士課程（YLP）修了生の進路状況

卒業年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
進学	0	0	0	0	0
民間企業等	0	0	0	0	0
医療機関	0	0	0	0	0
官庁	0	0	0	0	0
その他	10	11	9	8	9
合計	10	11	9	8	9

大学院博士課程修了生の進路状況

卒業年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
病院	67	76	63	52	55
大学病院	48	45	68	48	41
大学教員等	3	17	1	3	3
研究員・ポスドク	24	8	12	14	18
研究所	2	5	3	2	2
留学	0	1	0	2	1
その他	17	30	33	30	26
合計	161	182	180	151	146

資料 2-32 修士課程修了者就職先

2018年度	2019年度	2020年度
株式会社キューブアンドカンパニー アイシン精機株式会社 株式会社ヘルスケアシステムズ 小野薬品工業株式会社 新日本検定協会 名古屋第二赤十字病院 IQVIAサービシーズジャパン 多木化学株式会社 阪大微生物病研究会 愛知県健康福祉部保健医療局 フジタ製薬株式会社 名古屋大学医学部附属病院 ミヤリサン製薬株式会社	大垣中央病院 名古屋大学医学部附属病院 株式会社NSソリューションズ中部 岐阜県岐阜保健所 富士レボオ株式会社 IQVIAサービスジャパン株式会社	DOTワールド株式会社 豊山町役場 株式会社豊田中央研究所 トヨタテクニカルディベロップメント株式会社 株式会社三和化学研究所 名古屋第二赤十字病院 株式会社新日本科学PPD 名古屋大学大学院医学系研究科 IQVIA 中国 イーピーエス株式会社
2021年度	2022年度	
株式会社三和化学研究所 トヨタ自動車株式会社 アビームコンサルティング株式会社 公益財団法人結核予防会	日本光電工業株式会社 トヨタ自動車株式会社 国立病院機構	